

お世話になっております。

昨年6月熊本市で、帰宅途中の高校生が無灯火の自転車で歩道を走行中に79歳の男性に衝突し、その男性が死亡したという事故がありました。

朝日新聞 Web サイトより

<https://www.asahi.com/articles/ASM6K3H1HM6KTLVB005.html>

昨今のマスコミ報道等から、このような高齢者の絡む自転車事故が増えていることを実感します。そこで、公益財団法人 交通事故総合分析センター（I T A R D A）の交通事故統計表データを探ってみました。

自転車が第一当事者、歩行者が第二次当事者であった事故件数は、平成30年で2,728件を数えました。当該件数は、平成28年に2,230件と平成21年以降の最少を記録したものの、翌平成29年からは増加に転じています。

第一当事者の年齢層別では、高校生が含まれる「16～19歳」が全体の17%を占め、最多となっています。

さらに年齢層相関別の状況を見ると、上述の年齢層が起こした事故の内、相手（第二当事者）が65歳以上のケースが33%に達します。

相手が12歳以下のケースは14%ですので、如何に高齢者との事故が多いかお判りいただけたと思います。

高齢者は加齢に伴う身体機能の低下により、思いがけない行動をとることがありますので、生徒の皆さんには、自転車利用時は特に高齢者への留意を促すようご指導願います。

尚、当財団では交通安全指導に対するご支援として、以下メニューにて自転車の交通安全の専門講師を無償派遣しておりますので、どうぞご利用ください。

- ドライバー（自動車）からの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全
- 自転車・歩行者から見た道路交通と安全
- 夜間の交通安全対策
- 交通事故を起こして問われる責任
- 自転車を取り巻くリスクとその責任

自転車の交通安全に関する講師派遣メニューの概要・申し込み要項につきましては、以下URLよりご確認願います。

<http://jaef.or.jp/5-koushi/traffic-safety.htm>

日本自動車教育振興財団 メルマガ事務局

---

本メルマガへのご登録内容の編集・解除は、下記よりお願いします。

▼登録内容編集

<https://matomete-mail.com/bm/p/f/tf.php?id=149239601>

過去に配信したメルマガは、以下URLよりご覧になれます。

▼バックナンバー

<http://www.jaef.or.jp/7-mail-magazine/index.htm>